

平成 24 年 度

入学者募集要項

入 学 案 内



推 薦	願 書 受 付 期 間	平成24年1月5日(木)～1月11日(水)
	面 接 日	平成24年1月21日(土)
	判 定 結 果 の 通 知	平成24年1月25日(水)
	入 学 確 約 書 提 出 期 限	平成24年2月3日(金)
	合 格 者 発 表	平成24年2月23日(木)
学 力	願 書 受 付 期 間	平成24年1月30日(月)～2月3日(金)
	検 査 日	平成24年2月19日(日)
	合 格 者 発 表	平成24年2月23日(木)
	入 学 意 志 確 認	平成24年3月2日(金)
	入 学 確 認 書 提 出	平成24年3月12日(月) 12時
	合 格 者 入 学 手 続 日	平成24年3月14日(水)

独立行政法人 国立高等専門学校機構

国立 八戸工業高等専門学校

HACHINOHE NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

青森県八戸市大字田面木字上野平16の1

〒039-1192

TEL (0178) 27-7234 (学生課入試・教務係)

FAX (0178) 27-9487 (学生課)

ホームページ <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

メールアドレス kyoumu-o@hachinohe-ct.ac.jp

目 次

◎ 八戸高専とは	1
◎ 入学者募集要項	
I. 募集定員	2
II. 選抜の方法	2
A. 推薦による入学者の選抜	
1. 出願資格	2
2. 推薦人員	2
3. 出願手続	2
4. 選抜の実施方法	3
5. 面接検査日時及び会場	4
6. 推薦選抜結果の通知及び入学確約書	4
7. 不合格となったときの取り扱い	4
8. 合格者の発表	4
B. 学力検査による入学者の選抜	
1. 出願資格	4
2. 出願手続	4
3. 選抜の実施方法	5
4. 学力検査日時及び会場	5
5. 合格者の発表	6
6. 入学意志確認	6
7. 合格の通知	6
8. 入学確認書の提出	6
III. 追加合格	6
IV. 入学手続等	6
V. 身体に障害を有する入学志願者の事前相談	6
VI. 個人情報の取り扱いについて	7
VII. 学力検査による入学者選抜を受検した者の入試成績の開示	7
◎ 学習・教育目標	8
◎ 産業システム工学プログラムの履修	9
◎ 入学案内	
1. 本校の目的と性格	10
2. 創 設	10
3. 修業年限・学生定員等	10
4. 学科の紹介	10
5. 課外活動	12
6. 学 寮	12
7. 入学時に必要な予定経費	12
8. 入学科・授業料及び寄宿料免除制度	13
9. 奨学金制度	13
10. 高等学校等就学支援金制度	13
11. 卒業後の進路等	13
◎ 中学校別電算コード番号表	17

八戸高専とは

本校は、社会の多様な要請に応えるため、独自の教育目的を掲げ、創造力と開発能力を有する実践的技術者の育成に努めています。この実現のため4学科3専攻を一体化させた「産業システム工学」という複合的技術者教育プログラムにより、具体的な学習・教育目標を設定して教育活動を展開し、自己点検し、教育改善を進めています。

教育方針

豊かな教養を基盤として、高等の専門技術科学を体得せしめ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する技術者を養成することを教育理念としています。

本科の工学基礎教育の上に専攻科の工学教育を通して、創造力と開発能力を兼ね備えた実践的技術者を育成します。

この目的を達成するため、「誠実・進取・協調」の校訓にのっとり、自立的な人材の育成に主眼をおきながら、ものづくり・システムづくりの専門技術教育を推進します。

○ 養成しようとする技術者像

本校が、養成しようと考えている技術者像は、「多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法および情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、『ものづくり』や『システムづくり』に強い実践的な技術者」です。

○ 学習・教育目標

本校では、「豊かな人間性の^{かんよう}涵養」、「工学知識・技術の修得」、「地域社会への貢献」、「コミュニケーション能力の習得」という4つの骨格をもつ6つの学習・教育目標を設定しています。詳しくは8ページを参照してください。

○ 産業システム工学プログラムの履修

本校では、本科4、5年生および専攻科1、2年生を対象とし、4学科3専攻を一体とした複合的工学教育プログラムである「産業システム工学」プログラムを設定しています。詳しくは9ページを参照してください。

アドミッションポリシー

本校の教育方針にふさわしい学生を募集するため、学生募集の理念と入学者選抜方針いわゆるアドミッションポリシーを以下のとおり設定し、次のような「ものづくり」に興味を持ち、将来、優れた技術者として社会に貢献することに熱意を持った学生の入学を期待しています。

1. 他人への思いやりができ、責任ある行動がとれる人
2. 数学・理科や英語が好きで、学習意欲のある人
3. 「ものづくり」に興味を持っている人
4. 技術を通して社会に貢献する夢がある人
5. 他の人々と積極的に対話しようとする人

平成24年度入学者募集要項

本校では、豊かな教養を基盤として、高等の専門技術科学を体得せしめ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する技術者を養成することを教育理念としています。また、本科の工学基礎教育の上に専攻科の工学教育を通して、創造力と開発能力を兼ね備えた実践的技術者を育成することを目的としています。

I. 募集定員

学 科	募 集 定 員	
機 械 工 学 科	40名	計 160名
電 気 情 報 工 学 科	40名	
物 質 工 学 科	40名	
建 設 環 境 工 学 科	40名	

II. 選 抜 の 方 法

入学者の選抜は、推薦によるものと、学力検査によるものの二つの方法で行います。

A. 推薦による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

平成24年3月卒業見込の者で、次の各条件に該当し、出身中学校長が責任をもって推薦する者。

- (1) 人物が優れ、心身が健全で本校への入学の意志が確実な者。
- (2) 志望学科に対して、適性、興味及び関心を有し、志望理由が明確な者。
- (3) 調査書の各記録が優良であり、「必修教科の学習の記録」における5段階評定の3年間の総計が112以上であること。

2. 推 薦 人 員

推薦による入学者数は、各学科とも募集定員の40%程度とします。

一中学校あたりの推薦できる人数の制限はありません。

3. 出 願 手 続

(1) 入学願書受付期間

平成24年1月5日(木)から1月11日(水)まで(郵送の場合も、期間内必着とします。)

受付時間は、9時から16時まで。

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類は次のとおりです。

なお、①から⑥までの書類は本校所定の用紙（②調査書、③推薦書、⑥成績一覧表については記入要領の条件を満たしたものを。）を使用してください。

書 類 等	摘 要
① 入学願書・写真票・受検票	写真票に貼付する写真は、平成23年11月以降に撮影した上半身、脱帽、正面向きの縦6cm×横4.5cmの大きさのもの。
② 調 査 書	本校所定の用紙を使用し、出身中学校長が作成したもの。
③ 推 薦 書	本校所定の用紙を使用し、出身中学校長が作成したもの。
④ 返 信 用 封 筒	受検票送付用ですから、本校所定の封筒に80円切手を貼付してください。（願書を持参する場合も同様です。）
⑤ 検 定 料	16,500円 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等に振込み、銀行等から受け取った「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。 ただし、主たる家計支持者が東日本大震災による被災者である場合には、「検定料免除申請書」に被災証明書又は罹災証明書等を添えて提出することで検定料が免除になるので、検定料は振り込まないこと。
⑥ 成 績 一 覧 表	本校所定の用紙を使用し、出身中学校長が作成したものとし、1校につき1部提出してください。

（注）④で複数の志願者分をまとめて送付希望される中学校については、本校所定の封筒に90円切手を貼付して提出してください。その場合の封筒は、1通に志願者氏名をまとめて記入してください。

(3) 出願の方法等

(ア) 出願書類は、封筒の表に「入学願書在中」と朱記し、出身中学校において一括して提出してください。（書類は、二つ折にしないでください。）

なお、郵送の場合は書留で送付してください。

(イ) 願書受付後の志望学科の変更は認めません。

(ウ) 出願手続の完了した者の受検票は出身中学校長宛に送付します。

なお、1月18日(水)までに未着の場合は、本校学生課入試・教務係(TEL0178-27-7234)へ問い合わせてください。

(エ) 出願書類の提出先

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16の1
八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係

4. 選抜の実施方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書及び面接検査の総合判定に基づいて行います。

5. 面接検査日時及び会場

- (ア) 面接日及び会場 平成24年1月21日(土) 八戸工業高等専門学校
- (イ) 面接時間 集合時間等の詳細については、出身中学校長宛に通知します。

6. 推薦選抜結果の通知及び入学確約書

推薦選抜の結果は、平成24年1月25日(水)に、推薦のあった出身中学校長宛に発送します。
なお、電話等による問い合わせには応じられません。
合格内定者は、2月3日(金)までに入学確約書を提出してください。

7. 不合格となったときの取り扱い

推薦による選抜は、第1志望学科のみで行いますが、これに不合格となった場合は、「学力検査による入学者の選抜」〔平成24年2月19日(日)実施〕の志願者となります。

したがって推薦入学志願者も学力検査受検地と、第2志望学科、第3志望学科、第4志望学科がある場合は必ず入学願書及び調査書の所定の欄に記入してください。提出後に志望学科(第2志望、第3志望、第4志望を含む)の変更はできません。

この場合、出願書類及び検定料を再提出する必要はありません(手続きは一切必要ありません。)学力検査当日は、推薦選抜の際に使用した「受検票」を持参して受検してください。

8. 合格者の発表

平成24年2月23日(木)10時に受検番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、出身中学校長に「合格通知書」等を発送します。

なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

B. 学力検査による入学者の選抜

1. 出願資格

- (1) 中学校を卒業した者。(平成24年3月卒業見込みの者を含む。)
- (2) 中学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者。(学校教育法施行規則第95条)

2. 出願手続

(1) 入学願書受付期間

平成24年1月30日(月)から2月3日(金)まで(郵送の場合も、期間内必着とします。)
受付時間は、9時から16時まで。

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は次のとおりです。

なお、①から⑤までの書類は本校所定の用紙(②調査書、⑤成績一覧表については記入要領の条件を満たしたものを。)を使用してください。

書 類 等	摘 要
① 入学願書・写真票・受検票	写真票に貼付する写真は、平成23年11月以降に撮影した上半身、脱帽、正面向きの縦6cm×横4.5cmの大きさのもの。
② 調査書	本校所定の用紙を使用し、出身中学校長が作成したもの。
③ 返信用封筒	受検票送付用ですから、本校所定の封筒に80円切手を貼付してください。(願書を持参する場合も同様です。)
④ 検定料	16,500円 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等に振込み、銀行等から受け取った「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。 ただし、主たる家計支持者が東日本大震災による被災者である場合には、「検定料免除申請書」に被災証明書又は罹災証明書等を添えて提出することで検定料が免除になるので、検定料は振り込まないこと。
⑤ 成績一覧表	本校所定の用紙を使用し出身中学校長が作成したものとし、1校につき1部提出してください。 ただし、本校の推薦選抜志願用に提出した場合、及び過年度卒業生の場合は、提出の必要はありません。

(注) ③で複数の志願者分をまとめて送付希望される中学校については、別途、返信用封筒を作成し、充当する切手を貼付して提出してください。

(3) 出願の方法等

- (ア) 出願書類は、封筒の表に「入学願書在中」と朱記し、出身中学校において一括して提出してください。(書類は、二つ折にしないでください。)
なお、郵送の場合は書留で送付してください。
- (イ) 願書受付後の志望学科の変更は認めません。
- (ウ) 出願手続の完了した者の受検票は出身中学校長宛に送付します。
なお、2月14日(火)までに未着の場合は、本校学生課入試・教務係(TEL0178-27-7234)へお問い合わせください。
- (エ) 出願書類の提出先

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16の1
八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係

3. 選抜の実施方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査と調査書の総合判定に基づいて行います。
- (2) 出題する教科は、理科、英語、数学、国語、社会の5教科です。

4. 学力検査日時及び会場

- (1) 学力検査日時

2月19日(日)	9:30~10:20	10:40~11:30	11:50~12:40	13:30~14:20	14:40~15:30
	理 科	英 語	数 学	国 語	社 会

(2) 学力検査の会場

- ① 八戸検査場 八戸工業高等専門学校
- ② 青森検査場 青森市文化会館（青森市堤町一丁目4の1）
- ③ 弘前検査場 弘前市総合学習センター（弘前市大字末広4丁目10の1）

(3) 受検上の注意

- ① 受検者は、学力検査当日9時10分までに指定された検査室に入室してください。
- ② 受検票に記載してある「受検者心得」をよく読んでおいてください。

5. 合格者の発表

平成24年2月23日(木)10時に学力検査合格者の受検番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、出身中学校長に「学力検査合格通知書」を発送します。
なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

6. 入学意志確認

学力検査の合格者に対し、入学の意志を確認するため面接を行います。
なお、当日、面接を欠席した者は、入学の意志がないものとして合格を取り消します。
(ア) 面接日及び会場 平成24年3月2日(金) 八戸工業高等専門学校
(イ) 面接時間 集合時間等の詳細については、出身中学校長宛に通知します。

7. 合格の通知

上記の入学意志確認を経て、当日「合格通知書」を本人に交付します。

8. 入学確認書の提出

学力検査の合格者に対して、日程の関係上、入学意志の有無を速やかに確認する必要がありますので、出身中学校長は3月12日(月)12時までに合格者の意志を確認の上、入学確認書をFAXで提出してください。なお、入学確認書の用紙は、学力検査合格通知の際にお送りします。

Ⅲ. 追加合格

追加合格の有無については、3月12日(月)17時にホームページでお知らせします。
追加合格を行う場合は、追加合格者に対して出身中学校に電話等で連絡しますので、その際に確実に連絡がとれるような措置を講じておいてください。

Ⅳ. 入学手続等

1. 合格者に対して、平成24年3月14日(水)10時から入学手続を行うとともに、学校の概要等についても説明しますので、保護者同伴で出席してください。
2. 当日出席しない者及び入学料を納入しない者（入学料免除等の申請者を除く）は、入学の意志がないものとして取り扱います。
3. 詳細については、合格通知の際に連絡します。

Ⅴ. 身体に障害を有する入学志願者の事前相談

身体に障害を有する志願者で、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ電話等で本校学生課入試・教務係まで申し出てください。

相談の時期	推薦選抜志願者	平成23年12月9日(金)まで
	学力選抜志願者	平成24年1月13日(金)まで
連絡先	八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係	TEL (0178) 27-7234

Ⅵ. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅶ. 学力検査による入学者選抜を受検した者の入試成績の開示

受検者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

1. 申請者

学力検査による入学者選抜の受検者本人に限ります。（代理人による申請は認めません。）

2. 開示内容

学力検査の科目別得点

（注）推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

3. 申請期間

平成24年3月5日(月)から4月26日(木)までとします。

（土曜日、日曜日及び祝日を除き、9：00～12：00、13：00～16：00）

4. 申請に必要な書類

① 八戸工業高等専門学校入試成績開示申請書

② 本校受検票

（注）入試成績開示申請書は、本校ホームページからプリントアウトすることができます。

5. 申請方法

開示を請求する受検者本人が来校し、本校の受検票（コピーは不可）を提示し、学生課の窓口で申請してください。

6. 開示の方法

本人が来校し窓口で申請した場合には、原則として申請した日に閲覧により開示します。ただし、申請者が多数の場合は、当日のうちに開示できないことがあります。

7. 郵送による申請

① 遠隔地に居住する等の理由で本人が来校することができない場合は、郵送でも受け付けますので「4①の申請書、本校の受検票（コピーは不可）、返信用封筒」を同封してください。（4月26日(木)消印有効。）

② 返信用封筒（開示通知書送付用）

長型3号の封筒に、本人の郵便番号・住所（入学願書に記載されている住所に限る）・氏名を明記の上、500円分の切手をはってください。

③ 郵便により申請した場合には、提出された返信用封筒を使用し郵送により開示します。（1週間程度日数がかかる場合があります。）

8. 問い合わせ先 並びに郵送先

〒039-1192 八戸市大字田面木字上野平16-1

八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係 TEL 0178-27-7234

学 習 ・ 教 育 目 標

本校では次の6つの学習・教育目標を設定していますが、これらは「豊かな人間性の涵養」、
「工学知識・技術の修得」、「地域社会への貢献」、「コミュニケーション能力の習得」の4つの
骨格からなり、これらを有機的に結びつけているのが本校の伝統となっている校訓「誠実・進取・
協調」であり、精神的支柱の役割も果たしています。6つの学習・教育目標は、講義、演習、実
験・実習、卒業研究・特別研究、校外実習・学外研修などカリキュラムを基礎とする教育活動で十
分な達成が図られます。学習・教育目標の達成を可能にするため目標ごとに具体的な行動基準をそ
れぞれ設定しており、学習に取り組む際のめあてにしております。

A．豊かな人間性の涵養

国際的視野に立ち、地球環境や人類社会に及ぼす技術の影響を理解し、またその責任を自
覚できる、誠実で健全な心身を養う。

B．工学知識・技術の修得

(B-1) 数学、自然科学の基礎知識と実験・測定技術および情報処理技術を修得し応用で
きる。

(B-2) 得意とする専門分野の知識と技術を修得し、「連峰型教育」を活かした複合的専
門基礎知識も身につける。

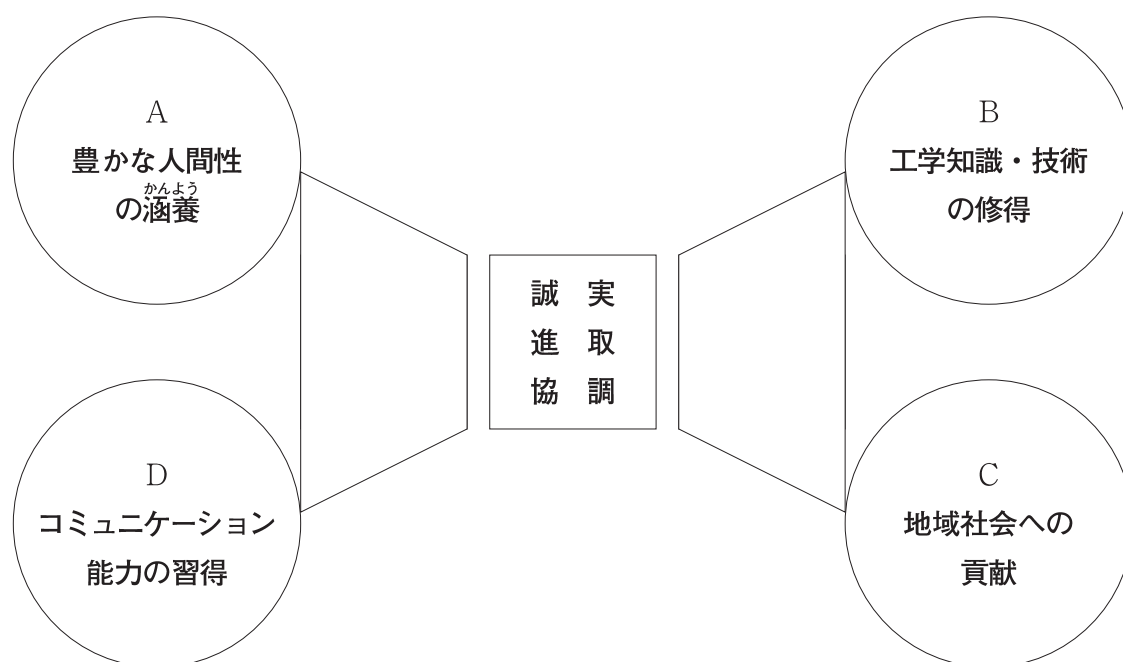
C．地域社会への貢献

(C-1) 協調性を発揮し、技術を創造・開発またはシステム化できるデザイン能力ともの
づくり能力を修得する。

(C-2) 北東北の重点課題であるエネルギー、環境の問題に関心を持ち、それらの課題に
積極的に取り組む、進取の姿勢を身につける。

D．コミュニケーション能力の習得

意思を明晰に相互伝達する日本語力と、国際社会に対応できる英語基礎力を身につける。



八戸高専 学習・教育目標 (J A B E E 対応)

産業システム工学プログラムの履修

本校では、本科4、5年生および専攻科1、2年生を対象とし、4学科3専攻を一体とした複合的工学教育プログラムである産業システム工学プログラムを設定しています。このプログラムの学習・教育目標は前頁に示した学習・教育目標と同一です。

本校本科からの専攻科入学者は、4・5年における学習・教育目標別達成度がすべての目標に対して60%以上を達成しておく必要があり、これによって本教育プログラムの最終的履修者として登録されます。また、他の教育機関から本校専攻科に入学した者も同様に本プログラムの履修者として扱われます。本校が設定する教育プログラムの履修者となることを了解のうえ応募してください。

なお、本教育プログラムは平成16年に「日本技術者教育認定機構（JABEE）」の審査を受けました。その結果、同機構の基準を満たし、国際的水準にあるとの評価を受け平成17年5月に認定されました。入学後は、JABEE認定の教育プログラム履修者としての誇りを持って学習に励んでください。

産業システム工学プログラムの修了要件

- 1) 学位（学士）を取得すること。
- 2) 専攻科において62単位以上修得すること。ただし、「八戸工業高等専門学校専攻科授業科目の履修等に関する規則」第9条第1号の要件^{注1)}を満たすこと。
- 3) 本プログラムにおいて、124単位以上修得すること。
- 4) 本プログラムにおいて、1,600時間以上（1時間は正味60分）の総授業時間を経験していること。ただし、このうち250時間以上の人文・社会科学等（語学含む）、250時間以上の数学・自然科学・情報技術および900時間以上の専門分野を含むものとする。
- 5) 本プログラムにおけるプログラム構成を示す本校専攻科平成23年度シラバス別表2-1（平成23年度専攻科入学者）別表2-2（平成22年度専攻科入学者）^{注1)}において、総合評価方法に基づく評価基準を満たすこと。

注1：教育改善により修正される場合がある。

入学案内

1. 本校の目的と性格

本校は「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること」を目的とし、中学校卒業程度を入学資格とする5年制の技術者養成のための高等教育機関です。本校は、5年間を通じ一貫した教育課程により、効果的に一般教育を実施するとともに、充実した専門教育を行っています。

2. 創 設 昭和38年4月1日

3. 修業年限・学生定員等

	機械工学科	電気情報工学科	物質工学科	建設環境工学科	合 計
修 業 年 限	5 年	5 年	5 年	5 年	
学 級 数	1	1	1	1	
入 学 定 員	40人	40人	40人	40人	160人
学生総定員	200人	200人	200人	200人	800人

4. 学 科 の 紹 介

〈機械工学科〉 Mechanical Engineering

機械工学とは、世の中に役立つものを作る（小さいもの、形のないものを作る）、創る（新しく初めて創る）、造る（巨大なものを作る）学問です。したがって、機械工学で扱う対象は、自動車、鉄道、航空機、船舶、工作機械やロボット、そしてカメラ、テレビ、家電製品、医療・福祉機器、農業機械、土木建設機械、また石油・ガスプラント、自然エネルギーを含む多様な発電設備など、広範囲に渡ります。最近ではマイクロマシンのようなとても小さなものも対象となります。工業製品に限らず食品や医薬品などを生産するためにも機械システムは必要ですから、機械工学はすべての産業を支える極めて重要な学問と言えます。これらの機械システムを設計、製作、管理するのが機械技術者（エンジニア）です。

機械システムを実現するための第一段階は、機械に求められる性能や機能を満足するように、システムを設計し製作図面を描くことです。授業では、製図の基礎、コンピューターを利用した図面の作成（CAD）、図面に基づいた機械製法やコンピューター制御工作機械による加工法（CAM）を学びます。さらに、システムの最適な設計（デザイン）や制御（コントロール）を行うのに必要な工学基礎科目や高度な専門科目等を学びます。創造性を涵養するために、「自分で創って学ぶ」授業と実験・実習・卒業研究を重視した「ものづくり教育」が本学科の特徴です。このように本学科では、発想を形にできる創造性豊かな機械技術者の育成を目指しています。

〈電気情報工学科〉 Electrical and Computer Engineering

あらゆる産業や生活に電気・電子と情報の先端技術が急速に入り込んできています。電気情報工学科ではこれらの先端技術を支える電気電子工学と情報工学の基礎から応用までを学習し、将来広い分野で活躍できるようにしています。

1～3年生の低学年においては電気・電子系の基礎科目と情報技術の基礎科目を学びます。4～5年生の高学年では電気電子工学コースと情報工学コースに分かれて、それぞれ独立したカリキュラムでより専門的な内容を学びます。電気電子工学コースでは、エネルギーの発生、輸送、消費までの過程、さらにその周辺を学ぶ電力システム工学や、コンピュータを構成するLSI、テレビ・オーディオを構成するトランジスタ回路などに必要な電子工学（エレクトロニクス）などを学びます。情報工学コースではソフトウェアの設計法、コンピュータの構造設計、情報ネットワークなどの情報通信技術、知能デジタル回路の設計や信号処理技術などを学びます。両コース共通で学ぶ内容としてはロボットのコントロールや、コンピュータを組み込む電子機器の基礎知識、グラフィックス技術や電子デバイス技術などがあります。特に実験や実習には力を入れ、新しい「もの」を創造できるエンジニアの養成をめざしています。

このように本学科では従来の電気電子技術者となる人材はもちろんのこと、情報技術産業で幅広く活躍できる人材の養成を目的にしています。

＜物質工学科＞ Chemical and Biological Engineering

有用な物質や優れた材料は、人間生活と産業の基盤です。化学技術は安価な原料とエネルギーを利用してより価値の高い物質を供給してきました。例えば、多様な合成繊維や蛋白質・各種金属・プラスチック・ゴム・セメント等は私達の衣食住を支えています。また最近、液晶・炭素繊維・ニューセラミックス・半導体・光ファイバー・機能性膜など次々登場してくる新素材は産業界に大きな変革を与え、私たちの日常生活や健康維持にも恩恵をもたらしています。

さらに生物学の進歩は今までの生物学と化学の境界を取り払いつつあります。またこれを利用したバイオテクノロジーは極めて複雑な物質でも、常温・常圧の温和な条件のもとで選択的に有用物質を私たちに供給してくれることが分かり、省資源、省エネルギー型の物質生産の道が切り開かれつつあります。

物質工学科では、物質の構造、変化、性質等、化学の基礎原理と細胞、遺伝子等の生物学の基礎を学習したうえで、これらを応用して新たな材料やエネルギーを生み出すための方法を学びます。第4学年以降では材料化学、精密化学を主体とした物質コースと、生物機能の利用を主体とする生物コースに分かれてさらに深く学習します。さらに校外実習や卒業研究にも力をいれており、地球に優しく広い視野をもち、創造性豊かなエンジニアに育つように導いています。

＜建設環境工学科＞ Civil and Environmental Engineering

橋、トンネル、ダム、舗装、水門・管路などの構造物、また、道路、鉄道、港湾、空港、エネルギー施設、上下水道・用廃水、廃棄物処理、河川、海岸、余暇施設などの社会基盤施設、そして都市・地域計画などの社会基盤システムを人と地球に優しくつくる。それがシビルエンジニアリング（Civil Engineering）です。

建設環境工学科では、環境の保全と再生、安全・安心で持続的発展が可能な社会の実現のための社会基盤整備を目指してきました。21世紀をむかえ都市や地方の社会・生活環境が大きく変わっていく中、地域住民に支持される社会資本を整備していくためには建築系のデザイン力も必要になっています。そこで本学科では平成21年度から建築系の授業をとり入れました。建設・防災・環境・計画・建築（デザイン）をキーワードとして、それぞれの分野に関する知識と技術を身に付け、創造力にあふれたものづくりに強い実践的技術者を育成するためのカリキュラムが用意されています。

5. 課外活動

学生会には、下記のクラブ（部）があり、顧問教員等の指導のもとに活発な活動をしています。

文化系クラブ：科学・自動車工学・写真・音楽・吹奏楽・電子情報工学・華道手芸・美術・放送・演劇・インターナショナルフレンドシップ・総合デザイン

体育系クラブ：陸上競技・バスケットボール(男・女)・バレーボール(男・女)・ソフトテニス・卓球・柔道・剣道・硬式野球・サッカー・水泳競技・テニス・バドミントン・ラグビーフットボール・ハンドボール・空手道・山岳・弓道

また、委員会としては文化委員会・体育委員会のほか高専祭実行委員会等があり、それぞれ自主的に活動しています。

さらに、ロボットコンテスト・プログラミングコンテスト・デザインコンペティション・英語プレゼンテーションコンテストなどに積極的に参加し、全国大会に数多く出場しています。

6. 学 寮

本校の学寮は、規律ある共同生活を体験する教育寮です。

(1) 1・2学年男子の全寮制について

本校に入学する男子学生は、第2学年まで学寮において共同生活を体験することになっています。ただし、自宅通学を希望する場合及びその他事情がある場合は申請により入寮を免除することがあります。

(2) 3～5学年・専攻科男子及び女子の入寮について

希望者の中から選考して入寮を許可しています。

(3) 入寮状況について

平成23年度の入寮者数は次のとおりです。

(平成23年4月1日現在)

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1年	専攻科2年	計
男子	103人	94人	88(2)人	64(2)人	68(3)人	6人	2人	425(7)人
女子	17人	15人	10(2)人	7人	7人	0人	0人	56(2)人
合計	120人	109人	98(4)人	71(2)人	75(3)人	6人	2人	481(9)人

()は内数で留学生を示す。

7. 入学時に必要な予定経費

- (1) 入 学 料 84,600円
- (2) 授 業 料 前期分 117,300円 (年額 234,600円)
在学中に改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。
- (3) 寄 宿 料 月 額 700円 (年額 8,400円) (寮生のみ)
- (4) 学寮諸経費(運営費・給食費) (寮生のみ)
 - ・学寮運営費 年 額 約82,000円 (年2回(4月・10月))
 - ・ 〃 給食費 月 額 約20,000円 (毎月給食業者へ納入)
- (5) 教科書・教材費 約50,000円～60,000円 (学科によって多少違います。)
- (6) その他諸経費 約43,000円 (学生会入会金など)
- (7) 服 装 費 約10,000円 (作業服、柔道衣など)
- (8) 制 服 男子 約50,000円
 〃 女子(ブラウス付) 約63,000円

8. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度

- (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の被災により、入学料の納付が著しく困難であると認められた場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料を免除（全額又は半額）する制度があります。（※倒産・リストラ等は該当しません。）
また、上記の事由に加え経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められた場合には、入学料の徴収を一時的に猶予する制度もあります。
- (2) 経済的理由又は風水害等の災害により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀と認められた場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。
- (3) 学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納付が困難であると認められた場合は、災害当月の翌月から当該年度末までの範囲内の寄宿料(月額700円)を免除する制度があります。

9. 奨学金制度

成績優秀であって経済的理由によりこれを希望する者には、選考のうえ日本学生支援機構等の奨学金が貸与されます。なお、本校では約30%の学生が奨学生として採用されています。

○ 本校における奨学生の現況

(平成23年9月1日現在)

奨学生の種類			月 額				人 員
			本科1～3学年		本科4・5学年および専攻科生		
日本学生 支援機構	第一種 奨学生	自 宅	21,000円	または 10,000円	45,000円	または 30,000円	266人
		自宅外	22,500円		51,000円		
	第二種奨学生	—————		3万・5万・8万・10万・12万から選択		9人	
その他の奨学生			地方公共団体、交通遺児育英会など				19人
本校奨学金奨学生			給付制 在学中1回 250,000円(特別奨学生は300,000円)				17人
合 計							311人

10. 高等学校等就学支援金制度

「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」における高等学校等就学支援金について、高等専門学校もこの制度の対象に含まれており、本校では、1～3年生を対象に授業料の一部または全部が助成される形で実施されます。

支給額は下表のとおり、保護者の所得に応じて月額9,900円～19,550円となっております。

世 帯 区 分	支給額(月額)	支給額(年額)	授業料(年額)
市町村民税所得割額が18,900円以上	9,900円	118,800円	234,600円
市町村民税所得割額が18,900円未満	14,850円	178,200円	
市町村民税所得割額が非課税	19,550円	234,600円	

※保護者全員（父母両方）の市町村民税所得割額の合計額で判定します。

11. 卒業後の進路等

(1) 卒業後に取得できる主な資格

本校を卒業すると工業関係技術者等の各種資格が取得できます。その主な資格は次のとおりです。

●各学科共通

- ・卒業と同時に公認会計士の第1次試験が免除されます。
- ・卒業と同時に法律学又は経済学の単位修得者は、税理士試験の受験資格が得られます。
- ・卒業と同時に準学士の称号が授与されます。

●機械工学科

- ・卒業後6月以上整備作業に関する実務経験を有する者は、三級自動車整備士の受験資格が得られます。
- ・卒業後4年以上発電用のボイラー、蒸気タービン、ガスタービン又は燃料電池設備（最高使用圧力が18キロパスカル以上のもの）工事等の実務経験を有する者は、第2種ボイラー・タービン主任技術者免状が得られます。
- ・卒業後圧力5880キロパスカル以上の発電用のボイラー又は蒸気タービン工事等の実務経験4年以上を含む8年以上の実務経験を有する者は、第1種ボイラー・タービン主任技術者免状が得られます。

●電気情報工学科

電気情報工学科の教育課程において、特に定められた科目の単位を修得した者については、以下の資格が得られます。

- ・卒業後2年以上電圧500ボルト以上の電気工作物工事等の実務の経験を有する者は、第3種電気主任技術者免状が得られます。
- ・卒業後5年以上電圧1万ボルト以上の電気工作物工事等の実務の経験を有する者は、第2種電気主任技術者免状が得られます。

●物質工学科

- ・卒業後6ヶ月以上危険物取扱の実務の経験を有する者は、甲種危険物取扱者試験の受験資格が得られます。
- ・卒業と同時に火薬類製造保安責任者試験の受験資格が得られます。

●建設環境工学科

- ・測量に関する科目を修めた者は、卒業と同時に測量士補となる資格が得られます。また、卒業後3年以上測量の実務経験を有する者は、測量士となる資格が得られます。
- ・卒業後2年以上土木工事の実務経験を有する者は、2級土木施工管理技術検定の受験資格が得られます。また、5年以上の実務経験を有する者は、1級土木施工管理技術検定の受験資格が得られます。
- ・指定科目を修得し卒業した者は、2級・木造建築士試験の受験資格が得られます。また、2級建築士として設計その他の国土交通省令で定める実務の経験を4年以上有する者は、1級建築士試験の受験資格が得られます。

(2) **就 職**

本校卒業生の就職はきわめて順調です。

卒業生は、優秀企業や官公庁に入り、前途有望な技術者としての評価を受けています。各企業からの求人数が多く、就職率100%です。

就職に当たっては、多年の実績を活かした指導が行なわれています。

● 求人就職状況（平成23年3月卒業者）

（ ）は女子内数を示す。

学 科 名	卒 業 者 数	就 職 希 望 者 数	求 人 数	就 職 者 数	求 人 倍 率	就 職 率
機械工学科	45(1)人	31(0)人	485人	31(0)人	15.6倍	100%
電気情報工学科	40(5)人	24(5)人	489人	24(5)人	20.4倍	100%
物質工学科	43(22)人	23(15)人	311人	23(15)人	13.5倍	100%
建設環境工学科	35(3)人	25(2)人	273人	25(2)人	11.0倍	100%
計	163(31)人	103(22)人	1,558人	103(22)人	15.1倍	100%

● 本校卒業生の主な就職先（平成20年度～22年度）

機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	物 質 工 学 科	建 設 環 境 工 学 科
(株)IHI (株)IHIエアロスペース 青森オリンパス(株) NOK(株) 北日本造船(株) (株)クレオ コマツ(株)小松製作所) サントリープロダクツ(株) 三洋化成工業(株) 塩野義製薬(株) 新日本製鐵(株) 住友化学(株)千葉工場 セイコーエプソン(株) 第一三共プロファーマ(株) ダイキン工業(株) 大正製薬(株)大宮工場 (株)高橋製作所 中外製薬工業(株) 中発テクノ(株) (株)ツムラ 茨城工場 (株)電業社機械製作所 東北大学金属材料研究所 東京水道サービス(株) 東京電力(株) 東北電力(株) 日本原燃(株) 八戸製錬(株)八戸製錬所 東日本旅客鉄道(株) (株)日立製作所 富士重工業(株) 富士ゼロックス(株) 本田技研工業(株) 三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所 三菱製紙(株)八戸工場 (株)森精機製作所 森永乳業(株)利根工場 レンゴー(株)青森工場	アイフォーコム東北(株) 青森フジクラ金矢(株) エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株) (株)NTTファシリティーズ東北 (株)インテム オムロンフィールド エンジニアリング(株) (株)NHKメディアテクノロジー ソニー・イー・エム・シー・エス(株) (株)アトックス (株)エム・ディ・エス (株)日産テクノ (株)ニコン (株)日立エンジニアリング・ アンド・サービス キャノン(株) 旭光通信システム(株) COM電子開発(株) TDCソフトウェアエンジニアリング(株) サクサシステムエンジニアリング(株) スパイシーソフト(株) パナソニックITS(株) 総合警備保障(株) ソニーケミカル& インフォメーションデバイス(株) 大太平洋金属(株) 中発テクノ(株) 中部電力(株) 東亜石油(株) 東京電力(株) 東燃ゼネラル石油(株) 東北電力(株) 日立化成工業(株) 日本原燃(株) 多摩川精機(株) 本田技研工業(株) 三菱重工業(株)	旭化成(株) 味の素(株)川崎工場 出光興産(株) 宇部興産(株) 千葉石油化学工場 エブノンアミックス(株) 花王(株) (株)産業公害・医学研究所 八戸分室 (株)青森フジクラ金矢 (株)コーセー 狭山事業所 (株)ツムラ 茨城工場 環境保全(株) 関東化学(株) 極東石油工業(株) 三洋化成工業(株) 塩野義製薬(株) 新日本石油(株) 中央技術研究所 住友化学(株)千葉工場 第一工業製薬(株) 第一三共プロファーマ(株) ダイキン工業(株) 大日精化工業(株) 中外製薬工業(株) 東洋インキ製造(株) 並木精密宝石(株) 青森黒石工場 日東電工(株)東北事業所 日本原燃(株) 日本ゼオン(株)川崎工場 日本たばこ産業(株) 富士フイルム ファインケミカルズ(株) 丸善石油化学(株) 三菱製紙(株)八戸工場 明治乳業(株) 森永乳業(株) 理研ビタミン(株)	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株) (株)TTK (株)岩沢測量コンサル (株)エヌ・ティ・ティ エムイー (株)大湊精電社 (株)NIPPOコーポレーション (株)クリタス (株)千代田コンサルタント (株)日建技術コンサルタント (株)ピーエス三菱 建装工業(株) 国土交通省東北地方整備局 五洋建設(株) サクサシステムエンジニアリング(株) 社団法人 東北建設協会 大豊建設(株) 東亜建設工業(株) 東京電力(株) 東北電力(株) 日本原子力発電(株) 八戸臨海鉄道(株) 東日本高速道路(株) 東日本旅客鉄道(株) 富士通(株) 前田道路(株) 横河工事(株) 東京都職員 八戸市職員 宮城建設(株) (株)竹中土木 (株)田名部組 八戸圏域水道企業団 仙台市職員

(3) **進学**

高専卒業生は技術者としての十分な素養を備えて、直ちに実社会に入って活躍する者が多い。

本校を卒業後、さらに勉学を続けたい学生は、高専の専攻科や大学の3年次へ進む道があり、本校でも2002年4月に専攻科が設置されました。高専専攻科(2年間)は大学よりも学費が安く、大学3年次への編入学と同様に学士への道が開かれています。

また、専攻科修了後は大学院に進むことができ、本校卒業生の進学者は増える傾向にあります。

● 学士取得可能な国立高専専攻科と編入学制度を実施している主な国立大学一覧

高 専 専 攻 科	関 東 地 区	中国・四国・九州地区
八戸高専専攻科 一関高専専攻科 仙台高専専攻科 秋田高専専攻科 鶴岡高専専攻科 福島高専専攻科 他 多数	茨城大学 筑波大学 宇都宮大学 群馬大学 埼玉大学 千葉大学 東京大学 東京農工大学 東京工業大学 電気通信大学 横浜国立大学	鳥取大学 島根大学 岡山大学 広島大学 山口大学 徳島大学 香川大学 愛媛大学 高知大学 九州大学 九州工業大学 佐賀大学 長崎大学 熊本大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学 琉球大学
北 海 道 地 区	中 部・近 畿 地 区	
北海道大学 北海道教育大学 室蘭工業大学 帯広畜産大学 北見工業大学	新潟大学 長岡技術科学大学 富山大学 金沢大学 福井大学 山梨大学 信州大学 岐阜大学 静岡大学 名古屋大学 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 三重大学 京都大学 京都工芸繊維大学 大阪大学 神戸大学 和歌山大学	
東 北 地 区		
弘前大学 岩手大学 東北大学 秋田大学 山形大学 福島大学		

中学校別電算コード番号表

『青 森 県』

【青 森 市】	023663 三条	【つがる市】	024460 泊
023511 造道	023664 明治	023940 木造	024461 六ヶ所一
023512 浪打	023665 市川	024000 森田	024464 千歳
023513 佃	023666 豊崎	024010 柏	024468 六ヶ所二
023516 浦町	023667 大館	024020 稲垣	【下北郡】
023517 古川	023668 江陽	024030 車力	024530 大間
023518 甲田	023669 北稜	【平川市】	024531 奥戸
023519 沖館	023670 八戸東	024120 尾上	024575 東通
023520 油川	023671 白銀南	024150 平賀西	024583 風間浦
023523 荒川	023672 白山台	024151 平賀東	024590 佐井
023527 筒井	024710 中沢	024160 小国	024593 福浦
023528 横内	024720 島守	024161 葛川	024594 牛滝
023529 新城	024770 田代	024200 碓ヶ関	【三戸郡】
023533 浅虫	【黒石市】	【東津軽郡】	024620 三戸
023534 青森西	023700 黒石	023830 小湊	024632 杉沢(三戸町)
023535 青森南	023701 六郷	023831 西平内	024640 五戸
023536 青森東	023702 中郷	023832 東平内	024641 川内
023551 戸山	023703 東英	023861 今別	024732 倉石
023552 三内	【五所川原市】	023870 蓬田	024650 田子
023553 青森北	023720 五所川原一	023850 蟹田	024668 名川
024130 浪岡	023721 五所川原三	023882 平館	024670 南部(南部町)
【弘前市】	023727 五所川原二	023885 三厩	024680 道仏
023501 弘大附属	023728 五所川原四	【西津軽郡】	024690 階上
023591 新和	024240 金木	023919 鱒ヶ沢	024700 福地
023593 船沢	024241 金木南	023960 深浦	024701 杉沢(南部町)
023594 東目屋	024283 市浦	023961 大戸瀬	024752 野沢
023595 弘前一	【十和田市】	023990 岩崎	024753 新郷
023596 弘前二	023740 三本木	【中津軽郡】	
023597 弘前三	023742 切田	024080 西目屋	
023598 弘前四	023744 大深内	【南津軽郡】	
023599 弘前五	023748 甲東	024100 藤崎	
023600 石川	023765 十和田	024180 明德	
023601 北辰	023766 四和	024110 大鰐	
023622 裾野	023767 十和田東	024190 田舎館	
023623 弘前南	024362 十和田湖	【北津軽郡】	
023624 弘前東	024364 十和田一	024230 板柳	
024050 津軽	023775 三本木高校附属	024270 鶴田	
024060 常盤野	【三沢市】	024253 中里	
024070 相馬	023780 三沢一	024290 小泊	
【八戸市】	023781 三沢二	【上北郡】	
023650 八戸一	023782 三沢三	024310 野辺地	
023651 八戸二	023783 三沢五	024320 七戸	
023652 八戸三	023791 堀口	024440 天間館	
023653 長者	【むつ市】	024441 榎林	
023654 小中野	023800 田名部	024340 百石	
023655 湊	023801 むつ	024380 六戸	
023656 白銀	023802 関根	024381 七百	
023657 鮫	023803 近川	024393 横浜	
023658 南浜	023804 大平	024401 上北	
023659 根城	023805 大湊	024425 東北東	
023660 下長	024504 川内	024426 東北	
023661 美保野	024510 大畑	024430 下田	
023662 是川	024600 脇野沢	024431 木ノ下	

『岩手県』

<p>【盛岡市】 033501 岩大附属 033511 下橋 033512 下小路 033513 厨川 033515 上田 033517 河南 033518 仙北 033519 大宮 033520 米内 033522 土淵 033527 黒石野 033529 繫 033530 城西 033531 城東 033532 北陵 033533 松園 033709 見前 033710 飯岡 033711 乙部 033712 見前南 033914 北松園 033684 玉山 033910 藪川 033690 巻堀 033692 洪民 033906 岩手 033907 盛岡白百合学園 【花巻市】 033594 花巻 033595 南城 033596 矢沢 033597 湯本 033598 宮野目 033599 湯口 033601 西南 033603 花巻北 033713 大迫 033715 石鳥谷 033718 東和</p>	<p>【北上市】 033604 北上 033605 飯豊 033606 北上南 033607 北上北 033609 上野 033610 東陵 033725 和賀西 033729 和賀東 033730 江釣子 【宮古市】 033550 宮古一 033551 宮古二 033552 河南 033554 宮古西 033556 花輪 033558 津軽石 033559 重茂 033561 崎山 033825 田老一 033842 新里 033920 川井 【久慈市】 033611 久慈 033612 長内 033613 大川目 033615 夏井 033616 侍浜 033618 宇部 033619 三崎 033620 山根 033874 山形 【二戸市】 033882 福岡 033883 仁左平 033885 御返地 033903 金田一 033896 浄法寺</p>	<p>【八幡平市】 033681 西根 033682 西根一 033699 松尾 033900 安代 033901 田山 【岩手郡】 033653 川口 033912 東部 033657 一方井 033661 沼宮内 033662 雫石 033669 葛巻 033670 小屋瀬 033680 江刈 033693 滝沢南 033694 滝沢二 033695 一本木 033696 姥屋敷 033697 柳沢 033698 滝沢 【紫波郡】 033703 紫波一 033704 紫波二 033705 紫波三 033707 矢巾 033708 矢巾北 【下閉伊郡】 033803 豊間根 033804 山田 033806 岩泉 033809 大川 033811 釜津田 033816 小川 033819 安家 033821 有芸 033823 小本 033829 田野畑 033836 普代</p>	<p>【九戸郡】 033849 軽米 033851 笹渡 033852 小軽米 033855 晴山 033857 種市 033861 宿戸 033862 中野 033864 野田 033877 大野 033881 九戸 【二戸郡】 033887 一戸 033891 小鳥谷 033893 奥中山</p>
--	--	---	---

入学願書

八戸工業高等専門学校

選抜区分	推薦・学力	受検番号	※	
推薦選抜	志望学科	第1志望	工学科	八戸
	第2志望	工学科	青森	
	第3志望	工学科	弘前	
	第4志望	工学科		
フリガナ	氏名	平成	年	月
		日	生	
志願	住所	(〒) TEL()		
		(電算コード番号)		
	出身中学校	立	年	月
		卒業見込・卒業		
フリガナ	氏名	(〒) TEL()		
志願者との	続柄	父・母・その他()		
住所	現住所	志願者と同じ場合は「本人に同じ」と記入する。		
		(〒) TEL()		

(注)裏面の「記入上の注意」を参照してください。

写真票

八戸工業高等専門学校

選抜区分	推薦・学力	受検番号	※	
推薦選抜	志望学科	第1志望	工学科	八戸
	第2志望	工学科	青森	
	第3志望	工学科	弘前	
	第4志望	工学科		
フリガナ	氏名	平成	年	月
		日	生	
<p>写真貼付</p> <p>平成23年11月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽で縦6cm×横4.5cmの大きさのものを貼付してください。</p>				

(切りはなさないでください)

受検票

八戸工業高等専門学校

選抜区分	推薦・学力	受検番号	※																						
推薦選抜	志望学科	第1志望	工学科	八戸																					
	第2志望	工学科	青森																						
	第3志望	工学科	弘前																						
	第4志望	工学科																							
フリガナ	氏名	平成	年	月																					
		日	生																						
<p>検査時間割</p> <table border="1"> <tr> <th>月・日</th> <th>時間</th> <th>教科等</th> </tr> <tr> <td>推薦選抜 1月21日(土)</td> <td>指定の時刻</td> <td>面接</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9:30~10:20</td> <td>理科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10:40~11:30</td> <td>英語</td> </tr> <tr> <td>学力検査 2月19日(日)</td> <td>11:50~12:40</td> <td>数学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13:30~14:20</td> <td>国語</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14:40~15:30</td> <td>社会</td> </tr> </table>					月・日	時間	教科等	推薦選抜 1月21日(土)	指定の時刻	面接		9:30~10:20	理科		10:40~11:30	英語	学力検査 2月19日(日)	11:50~12:40	数学		13:30~14:20	国語		14:40~15:30	社会
月・日	時間	教科等																							
推薦選抜 1月21日(土)	指定の時刻	面接																							
	9:30~10:20	理科																							
	10:40~11:30	英語																							
学力検査 2月19日(日)	11:50~12:40	数学																							
	13:30~14:20	国語																							
	14:40~15:30	社会																							

注意

1. インクを用い楷書及び算用数字で記入してください。
2. ※欄は記入しないでください。
3. 該当箇所は○で囲んでください。
4. この受検票は大切に保管し、推薦選抜、学力検査、入学意志確認及び入学手続日の際に必ず持参してください。
5. この受検票は学力検査の際、机の上に置いてください。
6. 裏面「受検者心得」をよく読んでおいてください。
7. 推薦選抜検査は本校(八戸検査場)で行います。

(切りはなさないでください)

受 検 者 心 得

◎推薦選抜受検者心得

1. 面接検査当日は、指定の時刻（後日通知する）の10分前までに指定された面接者控室に集合してください。
上履きは不要です。
2. 推薦選抜で不合格となった場合は、学力選抜の志願者となります。

◎学力選抜受検者心得

1. 学力検査当日は、9時10分までに指定された検査室に入室してください。
上履きは不要です。帽子、オーバー類等検査に不要な物は、まとめてカバン等に入れ、机が椅子の下に置いてください。
3. 机上には受検票、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り以外は置かないでください。
4. 途中退室はできません。

◎共通心得

1. 検査開始時刻に遅刻した場合は、検査場本部で指示を受けてください。ただし、検査開始後20分以上遅刻した場合は入室できません。
2. 受検票を紛失又は忘れてきた場合は、直ちに検査場本部に申し出て、仮受検票の交付を受けてください。

※その他詳細については、入学者募集要項を参照してください。

記入上の注意

1. ※欄は、記入しないでください。
2. 該当箇所は○で囲んでください。
3. 「志望学科」欄について
①「推薦による選抜」は、第1志望学科のみで行います。推薦選抜で不合格となった場合は、「学力選抜」の志願者となりますので、学力検査受検地と第2志望～第4志望学科がある場合は必ず記入してください。
②「学力検査による選抜」において、第2志望～第4志望を希望する場合は、各欄に志望学科名を記入してください。
③第2志望欄以下で、志望学科のない場合、その欄には斜線を引いてください。
④提出後に志望学科（第2志望～第4志望を含む）の変更はできません。

調 査 書

八戸工業高等専門学校

選 抜 区 分	推 薦 ・ 学 力					受 検 番 号	※				
推 薦 選 抜 志 望 学 科	工 学 科				学 力 検 査 受 検 地	八 戸 ・ 青 森 ・ 弘 前					
学 力 選 抜 志 望 学 科	第 1 志 望 学 科				本 校 以 外 の 受 験 校	高 校	高 校				
	第 2 志 望 学 科										
	第 3 志 望 学 科				第 1 志 望 校	本 校 ・ 上 記 の 高 校					
	第 4 志 望 学 科										
ふりがな				性 別							
氏 名	平成 年 月 日 生			入 学 平 成 年 月 日 転 入 学 編 入 学	学 校 名 (分 校 名)						
平成 年 月 日	卒 業 見 込 卒 業	転 入 学 ・ 編 入 学 の 記 録									
必 修 教 科 の 学 習 の 記 録											
教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	英 語	計	総 計
評 定	1 年										
	2 年										
	3 年										
特 別 活 動 等 の 記 録					総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録						
学 級 活 動					総 合 所 見 及 び 指 導 上 参 考 と なる 諸 事 項 						
生 徒 会 活 動											
学 校 行 事											
部 活 動											
そ の 他											
資 格 ・ 特 技					欠 席 の 状 況						
英 検 級	漢 検 級	数 学 検 定 級			学 年	欠 席 日 数	備 考				
(その他の 資 格 等)					1 年						
					2 年						
					3 年						
作 成 年 月 日	平成 年 月 日				校 長 氏 名	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block; margin: 0 auto;">印</div>					
作 成 者 氏 名											

調査書記入要領

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可。)
また、調査書用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

1 記入上の一般的注意

- (1) 調査書は、平成23年12月末現在で記入する。
- (2) 数字は、算用数字を用いる。
- (3) 記入する必要のない欄又は記入事項がない欄は、斜線を引く。
- (4) 「校長氏名」の欄の印は職印とする。
- (5) 選抜区分、学力検査受検地の欄は、該当する項目を○で囲む。
- (6) 「第1志望校」の欄は、該当する項目を○で囲む。(合否には影響ありません。)

2 各欄記入上の注意

- (1) 「氏名」の欄には、次のように記入する。
 - ア 戸籍上の氏名を記入する。
 - イ 外国人の場合、日本名による通称がある場合は、外国人の氏名とともにその下に()を付して通称を記入する。
- (2) 「入学・転入学・編入学」については、生徒が第1学年に入学した年月日または転入学・編入学した年月日を記入するとともに、入学・転入学・編入学について該当する文字を○で囲む。
- (3) 「学校名」の欄には、分校の場合、学校名とともにその下に()を付して分校名を併記する。
- (4) 「卒業見込・卒業」については、校長が卒業を認定する予定の年月日又は認定した年月日を記入するとともに、卒業見込・卒業について該当する文字を○で囲む。
- (5) 「転入学・編入学の記録」の欄には、以前在学していた学校名と転・編入学年を記入する。
また、海外帰国生徒については、この欄に㊦と朱書したうえ、海外在住地名、海外在住期間を〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月と記入する。
- (6) 「必修教科の学習の記録」の欄には、次のように記入する。
 - ア 第1学年及び第2学年の必修教科の評定は、指導要録に記載されたものを転記し、「計」の欄には、各学年の各教科の評定の合計を記入する。
 - イ 第3学年の必修教科の評定は、次のとおりとする。
 - (ア) 原則として、平成23年12月末までの学習に基づいて記入する。
 - (イ) 評定は5段階で表し、5段階の表示は、5、4、3、2、1とする。
その表示は、中学校学習指導要領に示す目標に照らして、「十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの」を5、「十分満足できると判断されるもの」を4、「おおむね満足できると判断されるもの」を3、「努力を要すると判断されるもの」を2、「一層努力を要すると判断されるもの」を1とする。
なお、盲学校、聾学校、養護学校中学部及び中学校特別支援学級在籍者の評定については、当該学校の評定方法により記入する。

また、他都道府県からの出願者については、当該都道府県の評定方法により記入する。

(ウ) 「計」の欄には、各教科の評定の合計を記入する。

ウ 「総計」の欄には、学年別評定の合計を記入する。

(7) 「特別活動等の記録」の欄には、次のように記入する。

ア この欄には、原則として第3学年について記入するが、第1学年、第2学年において、顕著な活動等がある場合は、そのことについても記入する。

イ 「学級活動」、「生徒会活動」、「学校行事」、「部活動」の各欄には、顕著な活動等がある場合、それらの活動状況について具体的に記入する。

ウ 「その他」の欄には、学校内外における奉仕活動・表彰を受けた行為や活動等で顕著な活動がある場合、それらの活動状況について具体的に記入する。

(8) 「資格・特技」の欄には、取得している資格及び特技について具体的に記入する。

(9) 「総合的な学習の時間の記録」の欄には、学習活動や評価の観点、生徒にどのような力が身に付いたかなどを文章で記述する。原則として、第3学年の学習に基づいて記入するが、第1学年、第2学年において顕著な取組等がある場合は、そのことについても記入する。

(10) 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄には、生徒の状況を総合的に把握する上で参考となる次のような事項などについて記入する。

ア 各教科等に関する所見

イ 行動に関する特記すべき事項及び所見

ウ 生徒の人柄や特徴に関する所見

エ 生徒の成長の状況に関わる総合的な所見

オ 無欠席、無遅刻、無早退等特筆すべき事項

カ (7)、(8)において書ききれない事項

(11) 「欠席の状況」の欄には、次のように記入する。

ア 「欠席日数」の欄には、各学年ごとの欠席日数を記入する。

イ 同一学年において7日以上欠席がある場合には、その理由を備考欄に記入する。

(12) 平成23年3月以前に中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者については、必修教科の評定等は生徒指導要録に記載されたものを転記し、その他は、生徒指導要録に記載された内容をもとに、(1)~(11)に準じて記入する。

受検番号	※
------	---

平成24年度入学者選抜検査

推 薦 書

平成 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

中学校名

校長名

印

下記の者は、貴校の推薦入学にふさわしい者と認め、責任を持って推薦いたします。

記

フリガナ 受検者氏名	男・女
	平成 年 月 日生
志望学科	工学科
志望の動機・理由及び志望学科に対する適性・興味・関心等	
人物・生活態度等	
その他の参考事項	

(注) 記入の際は、裏面の「記入要領」を参照してください。

推薦書記入要領

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可。)

また、推薦書用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

推薦書の記入にあたっては、ただ単に「まじめである」、「よく活動する」というような概略的、抽象的な記入ではなく、具体的事実に基づいて記入してください。

1. 志願の動機・理由及び志望学科に対する適性・興味・関心等

本人の志望学科に対する動機・適性及び意欲等並びに推薦される根拠となった特に目立つ特別な理由を具体的に記入してください。

2. 人物・生活態度等

本人の人物、性格、生活態度、健康状態、趣味等について、特に他の者と違う経験など特徴点を具体的に記入してください。

3. その他参考事項

上記以外について、特記する事項があれば記入してください。

成 績 一 覧 表

学年	評 定	教 科										英 語
		国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体 ()	保 体 ()	技・家 ()	技・家 ()	
第 1 学 年	5	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	4											
	3											
	2											
	1											
	計											
第 2 学 年	5											
	4											
	3											
	2											
	1											
	計											
第 3 学 年	5											
	4											
	3											
	2											
	1											
	計											
平成 年 月 日		中学校名 (分校名)						校 長 氏 名		印		

《作成要領》

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。(ただし、感熱紙は不可。)

また、成績一覧表用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

1. 平成23年12月末現在で作成し、在学する第3学年の普通学級在籍者全員（長期欠席その他の理由により平成24年3月卒業の見込みがない者を除く。）について、第1学年及び第2学年における各教科の評定並びに第3学年12月末現在の各教科の評定別人数を記入する。
2. 「保体」、「技・家」の欄について
 - ① 男女別の場合には（男）（女）とそれぞれ記入する。
 - ② 男女共修の場合には左側に（男女）と記入し、右側の欄に斜線を引く。
 - ③ 1、2年が男女別、3年が共修の場合には、1、2年については（男）（女）別にそれぞれ記入し、3年については左側に記入し、右側の欄には斜線を引く。
3. 「平成 年 月 日」欄には、作成年月日を記入する。
4. 「校長・氏名」の欄の「印」は職印とする。

平成24年度入学者選抜検査

入学検定料領収書・受付証明書貼付票

八戸工業高等専門学校

種 類	学 科 名	氏 名
本 科		

注 銀行の出納印のあるC票「入学検定料領収書・受付証明書」の裏面全面にのりをつけて貼り付けてください。

入学検定料の納入について

1. 入学検定料は、必ず下記の本校指定の「入学検定料振込依頼書」を利用ください。なお、振込の際は別途手数料が必要となります。
2. 入学検定料の振り込みは、下記振込用紙のA票・B票・C票の「志願者」欄を記入のうえ、銀行等（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口にて振込み願います。ただし、ATMからの振込はしないでください。

3. C票の「入学検定料受付証明書」は、「入学検定料受付証明書貼付票」に貼付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。

4. 納入期限 [推薦選抜] 平成23年12月19日(月)から平成24年1月11日(水)まで

[学力選抜] 平成24年1月16日(月)から平成24年2月3日(金)まで

本件に関する問い合わせ先：総務課財務係 TEL 0178-27-7228

A票

入学検定料振込依頼書

八戸工業高等専門学校

ご依頼日	平成	年	月	日	電 信 扱
振込先 青森銀行 八戸支店	預金種目	口座番号	入学検定料		
		2005038	¥	16500	円
受取人	コウセンキコウホンプ				振込手数料
氏名	独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役 事務局長 後藤 宏 平				出 納 印
フリガナ					
氏名					
住所	(〒 - -)				
	(TEL - -)				

B票

入学検定料振込通知書

八戸工業高等専門学校

依頼日	平成	年	月	日	円
振込先	入学検定料				円
				¥	16500
受取人	コウセンキコウホンプ				
氏名	独立行政法人国立高等専門学校 機構本部 出納命令役 事務局長 後藤 宏 平				
フリガナ					
氏名					
住所	(〒 - -)				
	(TEL - -)				

C票

入学検定料領収書・受付証明書

八戸工業高等専門学校

依頼日	平成	年	月	日	円
振込先	入学検定料				円
				¥	16500
受取人	コウセンキコウホンプ				
氏名	独立行政法人国立高等専門学校 機構本部 出納命令役 事務局長 後藤 宏 平				
フリガナ					
氏名					
住所	(〒 - -)				
	(TEL - -)				
振込手数料					円

※ 取扱金融機関へお願い

1. 当日中に取扱いただくようお願いいたします。
2. 出納印は、A・B・C票への3カ所にもれなく押印してください。
3. B票は、取りまとめ店を経由して八戸工業高等専門学校へ通知願います。
4. C票は、必ず志願者（振込人）にお返しください。

出 納 印

出 納 印

(取 扱 店 保 管)

(取扱店→取りまとめ店 青森銀行八戸支店)→八戸高専

(入学検定料受付証明書貼付用)

検 定 料 免 除 申 請 書

平成 年 月 日

対 象 入 試			
志 望 学 科			
フリガナ 志 願 者 氏 名		性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
家計支持者の 住 所 ・ 氏 名 (被災住所は被災 を受けた住所、現 在の住所は現在連 絡がとれるところ を記入)	被災住所 〒 現在の住所 〒 電 話 () フリガナ 氏 名	印	志願者との続柄 ()
被災証明書等の 添 付 状 況	<input type="checkbox"/> 被災証明書又は罹災証明書等を添付している <input type="checkbox"/> 被災証明書又は罹災証明書等は添付していない		
備 考			

記載及び申請時の注意

1. については、どちらかに印をお付けください。
2. 備考欄には、出願時に市町村等の発行する被災証明書等が間に合わない等、特別の事情がある場合にはその旨をご記入ください。
3. 申請するにあたっては、検定料の払い込みは行わないでください。検定料の払い込みをされた場合は、還付の申し出が必要となります。

青森会場案内（青森市文化会館）

- 青森駅から「バス」利用＜東部営業所＞行 ー約15分ー
- 青森駅から「タクシー」利用（約2.8km：10分）
（青森市文化会館・青森市堤町1丁目4の1）



弘前会場案内（弘前市総合学習センター）

- 弘前駅から徒歩約25分（弘前駅の東側へ）
- 弘前駅から「バス」利用 城東環状100円バス（和徳回り）ー約10分ー
- 弘前駅から「タクシー」利用（約2.5km：7分）
- 東北自動車道 大鰐・弘前 I Cより約15分、黒石 I Cより約15分
（弘前市総合学習センター・弘前市大字末広4丁目10の1）

